

# 令和5年度 登米市 水道事業 会計決算の概要

## 1 決算規模

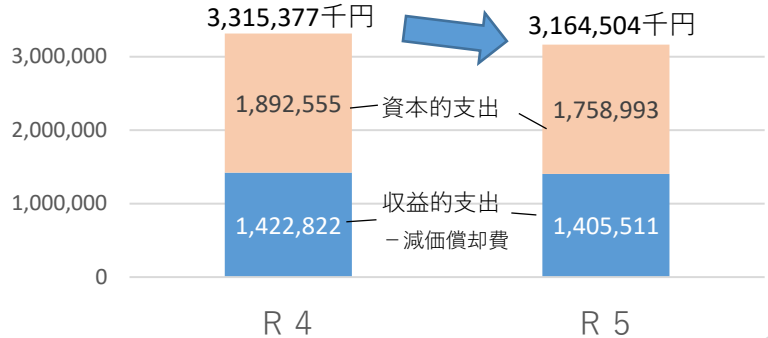
**31億6,450万4千円**

( = 収益的支出 - 減価償却費 + 資本的支出 )

※前年度比 約1億5千万円の減

⇒令和4年度からの繰越事業の減 (約9千100万円) 等による建設改良費の減少などによるもの

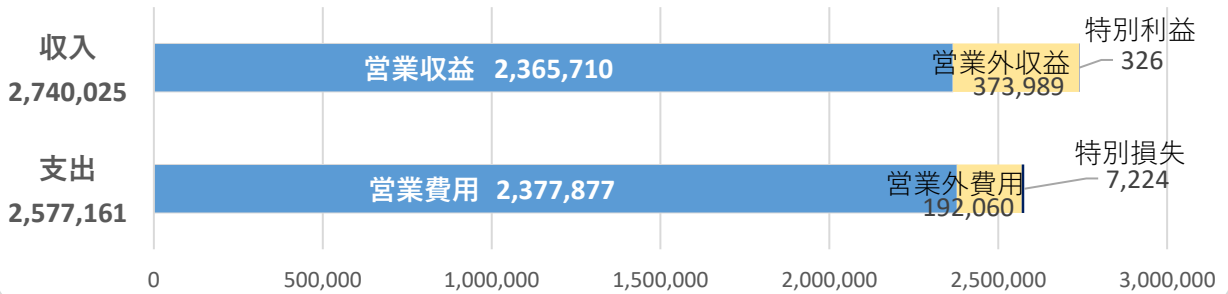
【決算規模の前年度対比】



## 2 予算執行状況 (消費税込み)

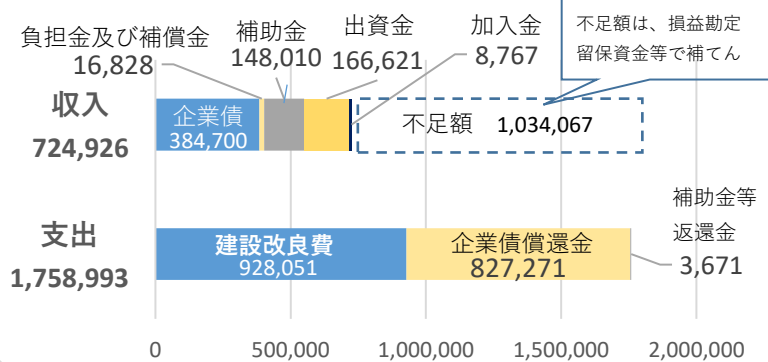
【収益的収支】

(単位:千円)



【資本的収支】

(単位:千円)



※ 主要事業

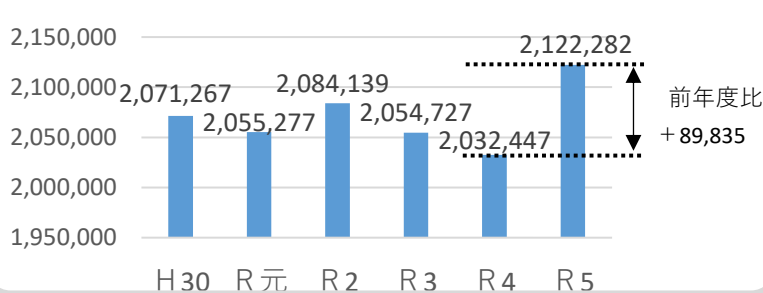
- ・ 水道料金改定
- ・ 保呂羽浄水場再構築事業の基本設計及び詳細設計
- ・ 管路緊急改善事業による老朽管の更新等を実施

## 3 経営状況 (損益詳細 消費税抜き)

(1) 営業収益 2,153,465千円 (前年比 88,260千円)

【給水収益の推移】

(単位:千円)



給水収益の増加

・ 給水人口及び一人当たりの有収水量は減少しているものの、水道料金の改定により増加

R4比

給水人口：1,464人減

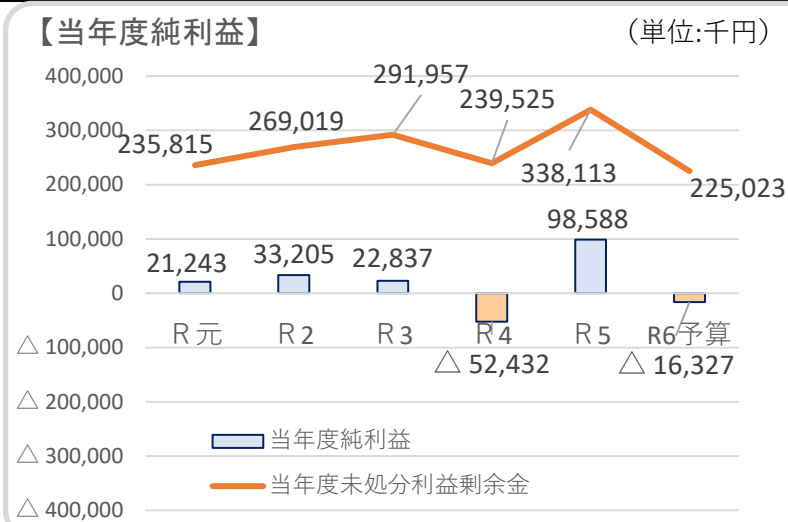
一人あたりの有収水量：2.0㎡減

(2) 営業費用 2,282,442千円 (前年比 2,475千円)

(3) 営業利益 △128,977千円 (前年比 85,785千円)

《主な増減要因》

(4) 営業外収益	368,333千円	(前年比 42,331千円)	退職給付引当金戻入益等の増
(5) 営業外費用	134,522千円	(前年比 △14,513千円)	企業債利息の減
(6) 経常利益	104,834千円	(前年比 142,629千円)	
(7) 特別利益	321千円	(前年比 △368千円)	過年度損益修正益の減
(8) 特別損失	6,567千円	(前年比 △8,759千円)	R4.7月大雨による災害復旧費等の減
<b>(9) 当年度純利益</b>	<b>98,588千円</b>	<b>(前年比 151,020千円)</b>	

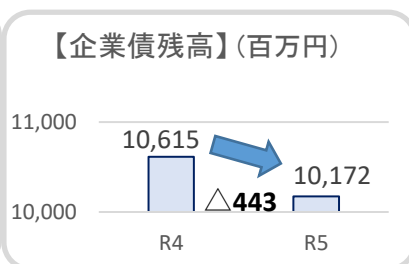
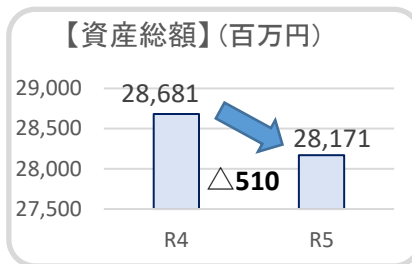


※純利益が前年比151,020千円増  
 ・R4までは人口減少等による給水収益の減、浄水、配水施設の動力費の増などにより純利益は減少傾向にあったが、R5.10月からの料金改定等により、給水収益が増となり、純利益が増した。  
 ・当年度末処分利益剰余金は338,113千円となったが、令和6年度の予定損益で純損失16,327千円を見込んでいるため、剰余金の処分は行わない。

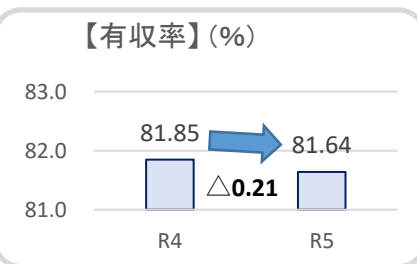
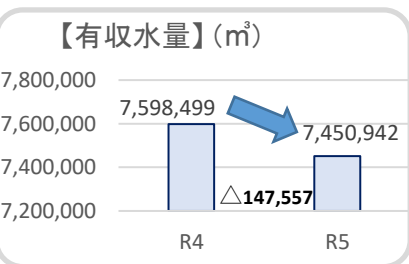
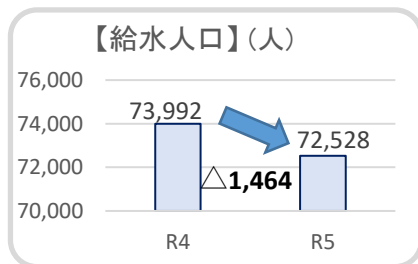
・最終予算における予定損益計算書より純利益が113,090千円増加(純損失が減)。主な要因は、修繕費等(33,146千円)、動力費(49,824千円)、予備費(16,951千円)の減

#### 4 財務諸表の調整

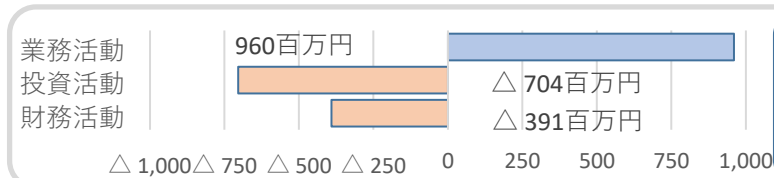
- (1) 損益計算書 当年度純利益98,588千円、当年度末処分利益剰余金338,113千円
- (2) 剰余金計算書 他会計繰入金(出資金)166,621千円を資本金へ繰入
- (3) 貸借対照表 資産の減価償却の進行により、前年度比510,124千円減少



#### (4) 事業報告



#### (5) キャッシュ・フロー計算書



業務活動で資金が得られ、かつ借入金残高を減少させながら建設投資が行われており、比較的安定した経営状況。  
 資金期末残高2,551百万円(前年比△135百万円)